

榎倉香邨遺作展

えの
くら
こう
そん
い
さく
てん

会期／自 令和5年3月5日（日）
至 4月30日（日）
会場／若山牧水記念文学館 企画展示室

若山牧水の短歌を書で表現することをライフワークとしてこられた、現代かな書最高峰の榎倉香邨先生。
先生は、牧水の故郷坪谷をはじめ、牧水ゆかりの地に足繁く通い、牧水の歌と人生について探求し、情熱をもって創作活動に取り組んでこられました。
その熱意は、90歳を超えても衰えず、百歳での個展開催を目指されていた矢先、令和4年1月、惜しまれながら98歳で逝去。突然の悲報でした。
先生からは、折あるごとに作品をご寄贈いただきました。
これまでの制作意欲に敬意を表し、その遺徳を偲んで、先生の愛したここ牧水のふるさとして遺作展を開催いたします。



榎倉香邨先生

私の心を貫き通してやまない強烈で炎のような牧水の愛と、果てることのない静への思いを少しでも書きたい、いやどうしても書かねばという思いでいっぱいでございます。(平成31年1月 個展「榎倉香邨の書—ふるさと—」あいさつより)



榎倉香邨書『はるさめ』



若山牧水書『わが庭の』



榎倉香邨書『海哀し』

榎倉香邨先生からご寄贈いただいた作品を展示します。まさしく「神工鬼手」と称される至高の世界をぜひご堪能ください。当館が収蔵する牧水遺墨のうち、先生が作品に用いられた短歌が書かれたものを展示します。また、牧水の故郷坪谷などを訪れた際の写真をもとに、先生との思い出を振り返ります。

『牧水短歌が紡いだ牧水と香邨』

～牧水と書家榎倉香邨を偲ぶ～

- 【日 時】 令和5年3月21日(火)
13時30分～15時30分
- 【会 場】 牧水公園「ふるさとの家」ホール
- 【鼎 談】 岩永栖邨(書家、書道香環会理事長)
伊藤一彦(歌人、若山牧水記念文学館長)
那須文美(日向若山牧水顕彰会長)

「人間牧水」を追い続けた書家・榎倉香邨先生が逝去されて一年。二人を結びつけた牧水の短歌、その人生をあらためて探り、在りし日の先生を偲びます。牧水の愛したヤマザクラが咲く今春、牧水生誕の地坪谷にて、皆さまをお待ちしております。

観覧を希望される方は、氏名・住所・電話番号を記入した封書またはFAXを、下記までお送りください。※複数人(最大10名)を一度に申し込みます。
【締め切り 令和5年2月28日(火)必着】
なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。

〒883-0211
宮崎県日向市東郷町坪谷 1271 番地
若山牧水記念文学館
<FAX>0982-68-9512

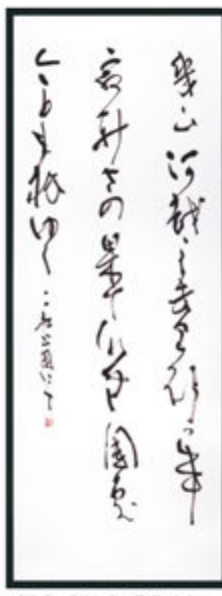
■若山牧水記念文学館 利用案内■
【開館時間】9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休館日】月曜日(祝日を除く)、12月29日～1月3日
【入館料】小・中学生/100円 高校生以上/310円
(20名以上の団体は2割引)
【お問合せ】TEL/0982-68-9511 FAX/0982-68-9512
【公式HP】www.bokusui.jp

ホームページはこちら



榎倉香邨(えのくら こうそん)
1923年-2022年

兵庫県生まれ。本名は弘(ひろむ)。安東聖空に師事。70代から牧水短歌を題材として創作活動に取り組む。日本芸術院賞、日展文部大臣賞等多数受賞。日展名誉会員、書道香環会会長。令和4年1月21日、98歳で逝去。



榎倉香邨書『幾山河』



若山牧水(わかやま ぼくすい)
1885年-1928年

現宮崎県日向市東郷町坪谷生まれ。本名は繁。旅と酒、人と自然を愛し続け、43年の生涯において約九千首の短歌を残した国民的歌人。叙情溢れる短歌は、今も多くの人を魅了し続けている。



若山牧水書『幾山河』